

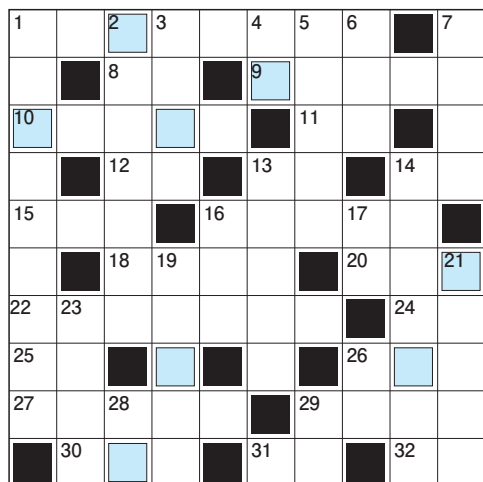


クロスワードタイム

今年も酷暑です。いい季節が少なくなり夏が長くなったような…。クロスで頭を使ってみませんか。二重枠の文字を並び替えると答えが出来ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■必切：10月24日(金) ■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：2025年に日本で開催される国際スポーツ大会です。



ヨ
コ
の
カ
ギ

1. お金を入れて、欲しい商品を選ぶと、その商品が出てくる仕組み。
8. 商品を買いたい人たちが集まって、誰が一番高い金額を出すかを決める方法。
9. 万年筆などで紙に文字を書くために使う、一番濃い色の液体。
10. 人ではなく、荷物をたくさん運ぶために使われる、大きな船のこと。
11. カクテルを作るときによく使う、ジュンパーベリーを使って作られた、強いお酒。
12. 真ん中において、全体を支える大事な部分のこと。
13. 仕事でリーダーに言われたことをやる役目の人。
14. 鉄などを引きつける力。電車の切符に情報を入れることもできる。
15. クリスマスの前の晩で、イエス・キリストが生まれたことをお祝いする。
16. ピンポイントで場所を示すため、赤道とイギリスを基準にした2つの数字。
18. ドアや門などにカギをかけて、勝手に開かないようにすること。
20. 一年の中で、昼の時間がいちばん短く、夜がいちばん長くなる日。
22. フランスの有名な芸術家で、「私の耳」という短詩を書いた。
24. 今より前に起こったことや、すでに終わってしまった時間のこと。
25. とても寒い日に空からふわふわと落ちてくる、白くて冷たいもの。
26. あるボードゲームをするときに交互に置く白と黒の小さな丸いもの。
27. 「なぜか」や「だれなのか」など、本当のことを知らうとする行動。
29. 足の一番前にある部分のこと。
30. 何かの表面にある、くり返しの形や色の組み合わせのこと。
31. ラテン語やギリシャ語が元になっていて、「ひとつ」や「ひとり」という意味を表す言葉。
32. 上野公園の西郷隆盛の銅像にいっしょにいる犬の名前

タ
テ
の
カ
ギ

1. 人の数を多くすることでスピードや力を出す方法。
2. 右に曲がる車だけが入ることができる特別な通り道。
3. 紙をじゃばらに折って作った、うちわのような形の道具で、笑いを取るために使われる。
4. 悪い夢を食べてくれると言われている、不思議な生きもの。
5. 人を思いどおりに動かすために、見た目の魅力や恋愛っぽいふるまいをわざと使うこと。
6. ある出来事が起こったとき、「どこから始まったのか」というもとのきっかけ。
7. 立体を考えるとき、前から奥までの距離のこと。
13. 体や頭を動かすためのエネルギーになる、甘い成分。
14. 駅で、機械がチケットやカードをチェックしてくれる通り道。
16. 「やってみよう」「がんばりたい」と心の中で強く思う気持ち。
17. 何かをするときに、なぜそうしたのかという考えやねらいのこと。
19. 誰かに正式なやり方を教わったわけではなく、自分で考えたやり方や工夫でやること。
21. 何かを始めるときに、自分が持っている中から使うおとするお金。
23. 赤紫の野菜を皮ごと温めてから、皮をむいてそのまま食べる、自然な甘みのおやつ。
26. 白や黒などの植物のたねで、昔から親しまれている香ばしい食材。
28. ある目的のために、力を貸したり、役に立つこと。
29. 動物の頭についている、硬くてとがった部分。

Vol.836クロスワード 正解と当選

答えは「デフリンピック」でした。



ご応募ありがとうございました。
当選者の方々にクオカードをお送りしました。

芋生敏彦、車塚美知子、千葉美穂子（アサヌマ）、
伊庭花子、芦谷里沙、阪元広之進、大橋永一、滝元光士郎、
三谷弘真（奥村）、橋本亮貴（鴻池）、
森本 貢、桑原佑太、竹林 和（佐藤）、
中島祥太、坂本一馬、笹岡かおり、角田初美、樋口真弓（東洋）、
軽部翔太、長野見基、松永勝美、小木 愛、古賀良太、
中村快子（戸田）、川口和彦（野村）、谷本順久（フジタ）、
寺田将人、高橋潤子（松村）
＜敬称略＞

編集後記

日建協第102回定期大会を8月4日、5日に開催しました。全国から多くの加盟組合の代議員が集まり、2日間にわたって審議・討議を行いました。大会は滞りなく終了し、新執行役員を選任および活動方針を含む議案が承認され、2025年度の日建協活動がスタートしました。

議案審議では、出席者から多くの意見や要望が寄せられました。建設産業をより良くしたいという皆さんの熱い思いを感じ、新執行委員の私にとって学ぶべきことが多く、身の引き締まる思いでした。

日建協が今までに培ってきた「産業政策活動」と「加盟組合支援」の二本柱を通じて、引き続き皆さんと共に魅力ある建設産業の実現を目指します。さらに、日建協ビジョン2030「誰もがいつまでも働ける 誰からも誇りに思われる産業」の実現に向けて、皆さんからの意見を交えながら共に進んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

最後に、機関誌「Compass」は、タイムリーな情報を織り交ぜながら、組合員の皆さんに少しでも役立つ情報を発信していきますので、変わらぬご愛読をよろしくお願いいたします。

船い

2025年とあるキャラクターがテレビ出演45周年を迎えた。アニメーション大国である日本にはいくつもの代表的なアイコンが存在し、世界中の子供たちに親しまれているが、『彼』以上に現代日本人の思想や倫理観に影響を与えた存在はいないのではないだろうか。『彼』がとある少年の勉強机から飛び出してから半世紀近く、親兄弟、子供に至る幅広い世代において、お茶の間では笑いを、スクリーンでは感動を届け続けている。

かくいう私も物心つく頃には『彼』に親しみ、影響を受けてきた一人である。幼き日の夏休み兄弟で留守番をしていた。幼い私をあやすため兄は『彼』の映画を借りてきた。胸を躍らせモニターを見つめる私の横で10歳年上の兄が感動で男泣きしていた姿を今でも覚えている。学生時代、偶然席次が前後であった級友が私に負けない愛好家と知って意気投合した。今では『彼』のミュージアムに共に出かけると最も親しい友となった。社会で働きだしてから、偶々仕事で『彼』を扱うこととなったとき、

運命を感じた。思わず家族や友人に自慢したものだ。

こういった経験は決して私だけの特別なことではなく、私と同世代以降に育った子供たちには誰にでも起こりうる経験であり、思い出ではないだろうか。

思い返せば私の人生においては常に『彼』を身近に感じてきた。

『彼』に感化されながら大人になった私は今、北陸に向かう新幹線の中で原稿を書いている。北陸は『彼』を生み出した原作者の生誕地でもあり、ルートとも呼べる場所。子供のころに比べてずいぶんと遠くまで行けるようになったものだが、あの頃胸躍らせた未来に少しでも近づけているのかと不安に駆られる毎日常。いつかドアを開くだけどこでも好きな場所へ行けるようになったとき、『彼』が作中に言う「りっぱなおとな」であれるよう精進しようと思う。

最後に、『ドラえもん』テレビ・映画45周年おめでとう。

PN「昼寝好きの小学生」